



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第98号

2012.3.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

もくじ

お知らせ

- ー 2012年度の観察会日程について
- ー 原稿の募集について

活動報告

- ー 雪原のトレッキング

観察会案内

- ー 早春のトレッキング
- ー 2012年度の観察会日程

お知らせ

● 2012年度の観察会日程についてのお知らせ

2012年度の観察会日程が決まりました。お馴染みのものや、去年とは違う試みのものなど様々な観察会を予定しています。詳しくは裏面の観察会案内をご覧ください。

● 「苅尾電波塔 100号」の原稿を募集しています

2004年1月の第1号の発行から8年が経ち、2012年5月号で、苅尾電波塔は発行第100号となります。それを記念し、次の通り記事を募集します。苅尾電波塔100号をみなさんのメッセージで飾って下さい。ペンネームでもOKです。原稿をおよせいただいた方には、芸北の自然を切り取ったポストカードを進呈いたします。

[募集内容]

- ・ 苅尾電波塔の感想
- ・ 西中国山地自然史研究会の活動に関する感想、要望
- ・ 写真や俳句
- ・ スタッフへのメッセージ

[投稿方法]

郵便・メール・FAXにて受け付けています。

郵便：〒731-2323

広島県山県郡北広島町川小田75
高原の自然館

FAX：(0826) 35-0386

「高原の自然館宛」と書いて下さい。

mail：staff@shizenkan.info

※おあずかりした写真・原稿の返却はいたしませんのでご了承下さい。

お問い合わせ：080-6334-8601

観 察 会 報 告

●雪原のトレッキング

開催日時：2012年2月19日（日） 10:00

講師：上野吉雄

朝の気温は氷点下18度と低く、チラチラと雪が舞い降りる中、「雪原のトレッキング」が行われ、16名の方が高原の自然館に集合しました。講師の上野先生からお話を聞いた後、雪原を歩き始めました。週末から降り続いた雪は深さ150cm以上となり、かんじきを履いていても膝下まで沈み込むほどでした。まずは自然館の周辺を観察します。山麓庵の屋根にはテンが移動している跡が見られました。上野先生は「柱をつたって天井裏に入り、同じく屋内に移動しているネズミを探している」とテンが柱を登った時に付けた爪痕を指差しながら、話されました。次に霧ヶ谷湿原へ向けて出発しました。途中にある水口谷湿原の入口に差し掛かると、ゆっくりとした羽ばたき方が特徴的なカケスに出会いました。「カケスは冬の間は主にドングリを食べる。秋に貯食しておいたものを掘り起こして食べるが、そのまま忘れさられたものは春になると芽吹くので、植物の分布拡大に一役買っている事になる」と解説されました。霧ヶ谷湿原に入る遊歩道では、ヤドリギの実を手にとることができました。上野先生は実を指に付けて揺らし、どれだけ粘着力があるのかを実演していただきました。普段は手の届かない高さにあるヤドリギですが、降り積もった雪の上を歩ける冬ならではの体験です。霧ヶ谷湿原内では、雪に閉ざされていない小さな池がいくつか見られました。「このような池にはカエルや両生類が捕食者のいない春の早いうちに山からやってきて産卵をする。特にヤマアカガエルは産卵をした後に山に戻り、暖くなるまで再び冬眠する」と上野先生は話されました。他にも、クロモジやミズメなどの冬芽や、ヒヨドリやシジュウカラの羽ばたいている姿などを観察できました。新雪のため、動物の痕跡は少なかったものの、湿原や植物、野鳥などを普段とは違う視点から観察することができました。[ありみつまさかず]



自然館前にうず高く積もった雪。今にも屋根に届きそう。



山麓庵の茅葺き屋根を移動したテンの足跡を観察する。



クロモジの冬芽。枝はしなやかに曲がり、雪の重みでも折れにくいことを聞いた。



雪の付く木々は日光を美しく反射させ、参加者の目を楽しませる。



霧ヶ谷湿原にある水溜まり。春になると産卵のために色々な生物が集まってくる。



看板も雪の中でじっと春を待つ。



ミズメの枝を嗅いでみる。湿布のような独特の香りがした。



上野先生の親指からぶら下がるヤドリギの実。多少揺らしても落ちないほどの粘着力がある。

【みなさんの印象に残った物】

「コナラとミズナラの判明」「カケスの跳び方が平泳ぎのようでした」「新雪の白さに感動(2)」「雪の湿原」「鳥が少ないこと(2)」「雪の多さ！前回(2年前)とはずいぶん違いました(2)」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「寒いけど楽しかった(2)」「去年より動物の跡は少なかったが面白い話が聞けた(2)」「寒くもなく新雪歩き良かった」「貴重な体験ができました」「動物の足跡がほとんどなかったのが印象的でした(2)」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 2012 年度の観察会日程

2012 年

- 4 月 21 日 山焼き後の雲月山植物観察会
- 22 日 霧ヶ谷湿原の整備
- 29 日 カスミサンショウウオの産卵調査
- 5 月 13 日 大潰山の春植物観察会
- 19 日 ブナ林の野鳥観察会
- 6 月 8 日 夜のモリアオガエル観察会（豊平）
- 10 日 龍頭山の野鳥観察会
- 23 日 昆虫観察会
- 24 日 霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）
- 7 月 8 日 夏の生き物観察会
- 15 日 ブッポウソウの観察会
- 22 日 こども観察会
- 29 日 カワシンジュガイ探検隊
- 8 月 4 日 千町原 夏の保全活動
- 5 日 可愛川の水生物観察会
- 9 月 15 日 秋の生き物観察会
- 22 日 霧ヶ谷湿原の植生調査（秋）
- 29 日 深入山の植物観察会
- 10 月 6 日 キノコ観察会
- 8 日 サツキマス保全の試み
- 11 月 10 日 ゴギの産卵の観察会
- 18 日 八幡高原の野鳥観察会
- 18 日 紅葉・冬芽の観察会
- 23 日 千町原 秋の保全活動
- 12 月 9 日 かんじき作り
- 2013 年
- 1 月 14 日 冬を生きる動物の生態
- 2 月 16 日 雪原のトレッキング
- 3 月 24 日 早春のトレッキング

● 早春のトレッキング

開催日時：2012 年 3 月 18 日（日）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット

定員数：30 名

参加費：一般 = 300 円

賛助会員 = 100 円

正会員・中学生以下 = 無料

厳しかった冬が過ぎ、3 月に入ると八幡高原も少しずつ春の兆しが現れます。湿原や草原を歩きながら、いくつ春を見つけることができるでしょうか？この時期だからこそそのトレッキングをして季節を感じましょう。

※日程が変更になる場合がありますので、毎号の苅尾電波塔をご確認ください。また、事前準備のためあらかじめお申し込みいただきますようお願いいたします。



2 月も下旬に入り、少しずつではありますが寒さが緩んできたと感じる日が増えてきました。閉館中の勤務地である芸北支所の敷地内にマンサクが植えてあることを教えて頂き、外へ出る度に「そろそろ咲くかな？」と思いながら見上げています。先日は雪をトラックに載せて別の場所に運んでいるのを見かけました。路肩や歩道に積もった雪を運ぶ様子に、近づいてくる冬の終わりや春の訪れを感じられました。（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info